

## 学校規模の適正化に係る学校関係団体からの意見

平成 29 年 6 月～7 月にかけて、以下の団体を対象に、学校規模の適正化に係る進捗状況（平成 29 年 5 月時点）の説明会及び意見交換会を実施した際に出た意見を、意見の性格ごとに9つに分類してまとめた。

### 【対象団体】（延べ参加人数 140 人）

- ・交野市 PTA 協議会（会長会）
- ・青少年指導員会（定例会）
- ・民生委員児童委員及び主任児童委員
- ・交野市子ども会連絡育成協議会（役員会）
- ・校区福祉委員会（代表会）
- ・区長会（定例会）

### 【意見の分類】

- ① 「学校規模適正化基本方針」に基づき、将来的にも適正な学校規模を確保するよう検討する。」に関連する意見（学校規模に関連する意見）。
- ② 「学校規模適正化基本方針」に基づき、適正な通学距離の範囲となるよう検討する。」に関連する意見（通学関係に関連する意見）。
- ③ 「児童・生徒数の将来推計と今後、見込まれる大規模な住宅開発の影響も考慮して検討を進める。」に関連する意見（児童生徒数の推移等に関連する意見）。
- ④ 「学校施設の老朽化状況も勘案して検討を進める。」に関連する意見（学校施設に関連する意見）。
- ⑤ 「小中一貫教育を進めるのにふさわしい新しい教育環境にも配慮する。」に関連する意見（小中一貫教育に関連する意見）。
- ⑥ 「地域のコミュニティにも配慮し、現在の中学校区を基本として検討する。」に関連する意見（地域コミュニティ、中学校区を基本とすること等に関連する意見）。
- ⑦ 「一つの小学校からは、一つの中学校へ進学することを基本として検討する。」に関連する意見（一小一中の接続に関連する意見）。
- ⑧ 学校適正配置に関連する意見（①～⑦に分類されるものを除く）。
- ⑨ 学校規模の適正化に関連する意見（①～⑧に分類されるものを除く）。

※①～⑦の括弧内は、学校教育審議会にて審議されてきた「学校適正配置を検討する上での基本的な考え方」。

① 「学校規模適正化基本方針」に基づき、将来的にも適正な学校規模を確保するよう検討する。」に関連する意見（学校規模に関連する意見）。

- ピーク時が大規模であったにすぎず、今が適正規模であると考える。
- 35人学級といわず、もっと少人数の学級にすればいいのではないか？それにより単学級は解消できるのではないか。
- 学校規模の適正化については、学級当たりの人数も含めて総合的に考えてほしい。
- (学校規模適正化基本方針の) 小規模校デメリットの記載事項を見る限り、課題がわかっているなら、その課題解決の方法はないのか知りたい。小規模校のデメリットありきで進んでいるように感じる。

② 「学校規模適正化基本方針」に基づき、適正な通学距離の範囲となるよう検討する。」に関連する意見（通学・校区等に関連する意見）。

- 保護者としては、通学距離や安全面が気になる。今の児童数の推移から学校規模の適正化を図ると通学距離が長くなるのは、やむを得ないように思うが、安全面をどのように確保するか、とても気になる。
- 通学距離は基本方針でよいのか。市内全体で考えているのか。許容範囲は通学には遠いのではないか。
- スクールバスを運行してほしい。特に暗くなってからの下校時が心配である。
- ゆうゆうバスを夕方からスクールバスとして利用できるのではないだろうか。
- 3つの小学校が集約されて4中に小中一貫校ができた場合、小学校1年生の通学距離に不安がある。その場合、小学校低学年の子どもたちへの配慮や工夫はできないのか。
- 今の藤が尾小学校には、「藤が尾区」の子どもは三分の一ぐらいしかおらず、多くの子は星田北や私部西から通学している。校区が広がったことから校区福祉の見守りができていないところがある。
- 再配置にあたり、通学上の安全面について、歩道の確保（一中や交野小の周りには歩道がない。）はどうするのか。早急に解決しなければならない問題と考える。

③ 児童・生徒数の将来推計と今後、見込まれる大規模な住宅開発の影響も考慮して検討を進める。」に関連する意見（児童生徒数の推移等に関連する意見）。

- 高齢化率が高い地域では、今後、空き家が多数出てくることが予想される中、その空き家を活用し、新たに2区画の住居ができれば、人口、児童生徒数も増加するのではないか。
- 現在は、土地がない中でもタワーマンションの建設などにより再び都心部でも人口増加が見られるなど、人口分布の変化が見られており、今後、人口増加も考えられるのではないか。

④ 学校施設の老朽化状況も勘案して検討を進める。」に関連する意見  
(学校施設に関連する意見)。

- すべての学校で老朽化が進行しているということだが、耐震化が終わっても心配される学校はあるのか。
- 他府県では、ビル型の学校（小中一貫校）もあるが、交野市は遅れている。どうせ、建て替えをやるなら、良いものをつくってほしい。
- 交野断層も考慮する必要がある。

⑤ 小中一貫教育を進めるのにふさわしい新しい教育環境にも配慮する。」に関連する意見  
(小中一貫教育に関連する意見)。

- 大きい子が小さい子をフォローしている面をみると、小中一貫教育はよいと思う。
- 小中一貫教育なら小学校 1 年生を中学生がサポートできるなどプラス面があるので、そこをアピールすればよい。
- この前の（小中一貫教育の）フォーラムの時も、各学校の先生方で「小中一貫教育」に？マークの人がいた。現場の先生方がその方針で本当にやってもらえるのか、ソフト面でのおさえも必要と感じた。
- 「どんな子どもを育てていくのか」が置き去りにならないように「小中一貫教育」の中身について、教育委員会がリーダーシップを持って進めていかなければならない。
- どちらかと言うとハード面の話が多いが、教育そのものの中身や人材育成のための教育などソフト面も考えていく必要がある。
- 「小中一貫教育」は「小中一貫校」のイメージが強い。
- 小中一貫校の3つのパターン（施設分離型・隣接型・一体型）の説明があったが、老朽化状況や通学距離のことを勘案して、教育委員会としてはどの案を今考えているのか？小中一貫教育に適した施設をバシッと決めて進めた方がよい。
- 小中一貫校では、縦の社会を学ぶことができるので、とてもいいと思う。
- （施設一体型小中一貫校で）小学生と中学生が同じ施設で学ぶということがどうなるのか不安である。小学校高学年のリーダーシップの育成などで問題が大きいと考える。
- 「適正化」という言葉より「小中一貫教育」など教育方針をタイトルにした方がよい。
- 学校の先生の労働条件が問題となっているが、今後、小中一貫教育を進めていくとどうなるのか。さらに厳しくなるのか。

⑥ 地域のコミュニティにも配慮し、現在の中学校区を基本として検討する。」に関連する意見（地域コミュニティ、中学校区を基本とすること等に関連する意見）。

- コミュニティを最重点に考えてほしい。
- 校区とのコミュニケーションを十分に取って適正化を進めてほしい。
- 地域性や校区コミュニティの話はわかるが、そればかりにとらわれ過ぎると、学校の適正配置は進まないと考える。
- 学校規模の適正化を図るあまり、今まで築きあげてきたコミュニティネットワークが崩れることがないように配慮を願いたい。また、若い世代の地域活動率が低下している中、現在のネットワークを引き継ぎ、新たな発展につながるコミュニティができればよいと思う。
- 星田区の大部分は第三中学校区となっているが、第四中学校区である藤が尾小学校区にも星田区が含まれており、コミュニティがわれてしまっている。元々は「区」が基準である。星田という区を基準で考えてほしい。

⑦ 一つの小学校からは、一つの中学校へ進学することを基本として検討する。」に関連する意見（一小一中の接続に関連する意見）。

意見なし

⑧ 学校適正配置に関連する意見。（①～⑦に分類されるものを除く）

- 基本的な考え方には異論はない。
- 基本的な考え方にも優劣をつけて考える必要がある。
- ベースは今現在だが、10年先、20年先を見据える必要がある。
- 先を見通した絵を描くことが大切である。
- 交野市の将来を考えると、ある程度、小学校は市内に分散したほうが（人口割でなく、面積割で）発展するのではないかと思う。
- もう少しスピード感を持って取り組むべきではないか。施設一体型小中一貫校の全校整備は困難だとしても、校区再編や学校統合による学校の適正化・適正配置はなるべく早急を実施すべきと考える。
- 小学校がなくなるのはさみしい。全部残してほしい。
- 学校の廃校には反対する。地域から小学校がなくなると、その地域では新たな住民を迎えにくくなり、地域が衰退していく。福島県でもそのような例があったと聞いた。
- 議員の中には「廃校」という言葉を使っている人もいる。子どもたちの不安もあるので、はっきりさせてほしい。
- 将来的にも（児童生徒数・学級数は）減少傾向にあり、統合は考えられる。一方、校舎の老朽化もあり、新しく建てるにしても予算や場所の問題もある。
- 学校の廃止ではなく、減築を考えたらいいのではないか。
- 南星台には、2つの小学校があり、子ども会がバラバラになっている現状がある。審議会の学識経験者だけでなく、地元のお母さんたちの意見をしっかり聞き、現状も頭に入れて考えてほしい。

## ◎ 学校規模の適正化に関連する意見。(①～⑧に分類されるものを除く)

- 学校規模の適正化を図ることは、時間がかかるため、早い段階から検討すべきことはよくわかった。
- 「小中一貫教育」と「適正化」が同時進行しているから、余計に保護者なり地域の間が消化できないまま、噂が先行していると思う。説明を聞いても理解が難しいが、じっくり説明してわかってもらう必要がある。
- 保護者間で、今回の話をしてもほとんどの人が「よくわからない。」との意見が多かった。中には、他人事のような感じている人もいた。市民の関心が高まるように、さらに周知を図っていただければと思う。
- 地域の情報収集・情報発信の場、地域に開かれた学校にしてもらいたい。
- お年寄りと子供たちが一緒に給食を食べながら、お話を聞くというニュースを見たが交野市でもどんどんやってほしい。商業施設との複合化等、交野市としてあらゆることを考えてほしい。
- 長宝寺小学校では、オセロ大会や子育てサロンで学校の空き教室を使わせてもらっており大変ありがたい。地域の活動場所についても考えてほしい。
- 学校数が減少した場合、施設の活用はどうするのか。適正配置を考える場合、残る施設の活用もセットで考える必要がある。
- 工事期間中の子どもたちの教育環境はどうなるのか。
- 学校の建て替えは、今ある学校でやるのか。工事に当たる時の子どもがかわいそう。何らかの対応を求めたい。
- 学校統合になると、運動場の学校開放はどうなるのか。
- 統合となった場合の(中学校の)部活の問題であるが、場所と指導者の負担をどうするのか。
- 学校は、地域の人材バンクの側面もある。学校と保護者と地域が三位一体となって地域の活性化を図ってほしい。
- 地域団体の意見も取り入れてほしい。
- 12億という数字があったが、ちょこちょこ修理するのか、一気に改修するのか考えた方がよい。
- 市として人口が増えるような施策をやってもらってPRしてほしい。人口減にならないように、やっていただけるとありがたい。